

放課後等デイサービス のどか 令和3年度 事業計画

1 放課後等デイサービスの運営

2 法人方針

- (1) 子どもたちの安全を保障します
- (2) 地域と調和し子どもたちを育てます
- (3) 子どもたちの主体性を育てます

3 のどか運営方針

- ・子どもと家族が笑顔でいられるように協力・相談し支援します。
- ・安全に配慮し、子どもたちが安心して自分らしく居ることができる場所をつくります。
- ・様々な事を体験し、仲間と喜びや成長を共に感じられるあたたかい場所づくりを目指します。

4 支援内容

- (1) 職員数 6名（管理者兼児童発達支援管理責任者1名 ケアワーカー5名）
- (2) 利用者数 定員10名
- (3) サービス提供時間

平日（放課後）	午後 2時30分	～	午後5時30分
学校休業日	午前10時	～	午後4時

(4) サービス提供プログラム

- ・各家庭より来所
- ・集団活動、作業学習をする
- ・自由遊びをする
- ・昼食（お弁当）※学校休業日の場合
- ・ソーシャルスキルトレーニング（保護者の要望に応じて実施）

①SSTカード「UCHIDAS：SSTカード こんなときどうする？」を取り入れ、毎日10～20分程度個室で個別の時間を設け、「各場面に応じた状況判断力を職員と共に考え養う」ことを目指す。

②のどかの活動において、司会などの役割を与え他の子どもたちのことを考え



ながら進行できるよう働きかける。また、他の子どもが司会の際は「相手の気持ちを察する」ことができるよう協力を働きかける。



③グループワークにおいて、工作や調理など「共通のゴールに向かって他の子ども達と協力する」ことを通して、相談や助け合いのスキルを学ぶ。

- ・プログラム活動（創作・レクリエーション・散歩・おやつ作り等）
- ・おやつを食べる
- ・帰りの支度をして帰る（送迎車、お迎え）

(5) 年間行事予定

- ・毎月活動カレンダーを保護者に配布する。
(進級お祝い・お雛様・七夕・ハロウィン・クリスマス会など)
- ・お誕生日会
- ・その日の活動の様子を保護者の方へ SNS や写真などで報告をしていく。



(6) 家庭支援

- ・ 個別の連絡帳
- ・ 送迎時の伝達
- ・ お便り
- ・ 個別相談（管理者・社会福祉士による保護者の子育て相談に対応する。）
- ・ 保護者との交流会を企画（茶話会・食事会）



5 その他

放課後・休日の居場所が、子どもたちにとって安心して楽しく過ごせる場所となるように支援する。笑顔で子どもたちに向き合えるように、スタッフのチームワークをはかり、子どもたちと保護者との信頼関係を構築する。

今年度も事業所内の環境整備を整えて子どもたちがのびのび活動できる場所にする。

個別支援計画の作成のための職員会議やサービス提供内容の企画会議に外部講師としてスーパーバイザーを招聘し、専門的な支援に関する質の確保に努める。